

「マックでビデオ

医師のためのデスクトップビデオ編集(入門編)」

東京医科歯科大学・第2外科 長内 孝之 著

東京都保健医療公社東部地域病院脳神経外科部長

伊 藤 昌 徳

最近、学会発表にはビデオセッションが増えています。顕微鏡手術、内視鏡手術などのビデオ記録をしている方でビデオセッションで発表したいと考えている方は多いと思います。しかし、最近の学会発表ビデオは画面がページめくりで次の画面に変わったり、説明の文字が動いたり、ズームアップしてきたり、ピックアップインピクチャーが出てきたり、ずいぶんお金がかかるのではないかと尻込みしてしまう方も少なくないのではないのでしょうか。また、学会の器械展示に足を運んだり、ランチョンセミナーに出席してみると、各メーカーのビデオコンピューター編集システムが紹介されるようになっていきます。しかし、これらの編集システムは高価すぎてとてもうちの医局、うちの病院では買ってくれそうもないことに気が付き、あきらめの気持ちになってしまいます。ましてや、ビデオ編集を業者に依頼しようものなら数十万円かかってしまいます。

このたび、東京医科歯科大学第2外科の長内孝之先生が「マックでビデオ—医師のためのデスクトップビ

デオ編集(入門編)」という解説書を出版されました。医師の間で最も普及しているパソコンであるマッキントッシュを使用したビデオのノンリニア編集が平易に解説されています。まず、手持ちのマックにビデオキャプチャーボードをインストールし、ハードディスクの容量を増やせば準備OKですが、どんなビデオキャプチャーボードを購入すればよいかも本書に書かれています。従来のアナログ編集機を使用してきた方はビデオ編集の最後の部分にさしかると制限時間を超えそうになり、尻つぼみ編集に陥ってしまったことを経験されていると思います。編集が終了してから、この部分を縮小して、この部分を長くしたい、画面をスピンさせて画面が変わるのを強調したいなどと思っても不可能です。アドビプレミアという市販のソフトを使用すれば、画面の切り取り、短縮、並べ替えは自由自在ですし、画面が変わるときにページめくり、回転、カーテンなどの効果を挿入することもいとも簡単にできます。また、画面に説明文を書いたり、ピクチャ

ーインピクチャーで説明のシェーマを挿入させたりも自由自在です。この本は初心者にもそうお金をかけずに魅力のあるビデオ作成ができるように、そのシステムの組み方からソフトの使い方までわかりやすく解説されています。最後の章で、最近はやりのデジタルビデオで録画された映像をノンリニア編集できるRadius Fire Wire/Moto DVを用いたシステムも紹介されています。実際に長内先生の医局ではあまりお金をかけずにビデオ作成システムを導入し、数々のビデオ発表を行っておられ、このことは杉原教授が巻頭言で述べておられます。私も長内先生の手ほどきを受け、相当数のビデオ発表をさせていただきましたが、学会場で“先生はどんなソフトを使ってビデオ編集をしているのですか”という質問をよく受けます。そんなときには本書を推薦することになっています。

●B5 頁152 図211 写真6 CD-ROM1枚付 1998 定価(本体4,500円+税) 4400

—医学書院 刊(☎03-3817-5657)